篠井地区情報紙
第108号　令和8年（2026年）10月発行

りんご・きのこ・うどんの里

編集・発行
篠井地区ゆたかなまちづくり協議会（市民センター内）
〒321-2105　宇都宮市下小池町466番地1
電話：028-669-2515　FAX：028-669-2972
https://shinoi-machidukuri.jimdofree.com/

9月19日にPHIARO MOBILITY HUB - SHINOI RING（篠井町）がグランドオープン！

自動車開発企業のフィアロコーポレーションが篠井町の旧ヒーローしのいサーキット（上篠井～中篠井の地域）の権利を取得し、SHINOI RING（しのいリンク）という名称で9月19日（土）に一般向けにオープンしました。

同社の本業は大手自動車メーカーの次世代車両のコンセプトモデル開発で、埼玉県内に本社があり、栃木県内では芳賀町にファクトリーを構えています。

SHINOI RINGでは、平日に開発車両の走行テストを行い、テストのない土日・祝日に一般開放します。

施設にはオンロード・オフロードのコースをはじめ、カフェや同社が手掛けたコンセプトカーの展示のほかに、シミュレータ（コンピュータ上の模擬走行体験）などもあり、様々な自動車体験を楽しむことができます。

同社はこの施設全体をフィアロ・モビリティ・ハブと名付け、単に車両走行だけではなく、モビリティ（乗り物、移動手段）の未来や可能性を体感することができ、来場者にワクワクしてもらえるような体験を提供する場所にしたいとしています。1周1.3Kmのコースも、マラソンやランニングの練習コースとして活用することも予定されています。

また同社は昨春に篠井で事業を開始して以来、地元との交流を積極的に進めています。今年3月のうどんまつりではブースを設け、コーヒーの無料サービスなどを行いました。また7月15日には篠井小学校の5・6年生を対象に、子どもたちが自らデザインして粘土で成形した車の模型で、気流がどのように流れるかなどの出前講座も実施しています。

オープン初日に全面に立って来場者の案内をされていた同社の岩崎社長が、「若い方に車に興味を持ってもらい業界全体を盛り上げたい。同時にこの施設がある篠井地区にも積極的に貢献していきたい。」と、熱く語られていたのが強く印象に残りました。

MOBILITY HUB HP

岡坪　半田　聖滋



オンロードコース


カフェ店内


コース走行体験


コンセプトカー（NISSAN HYPER FORCE）


シミュレータ



篠井小学校出前講座

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会　各部会活動報告

【環境部会】



6月21日（日）、環境部会で不法投棄パトロールを実施しました。34名が力を合わせ、約2時間で軽トラック約5台分のごみを回収し分別。洗濯機やテレビ、椅子など、思いもよらない粗大ごみや、銅線が抜き取られた多量のケーブルなどの事業系ごみも見られ、その実態に驚かされました。ごみの多い場所には不法投棄禁止の立て看板を設置し、注意を呼びかけました。今後も地域が一体となって知恵を絞り、「捨てさせないきれいなまちづくり」を目指して活動していきます。

環境部会長　堀井　弘美

【生涯健全育成部会】



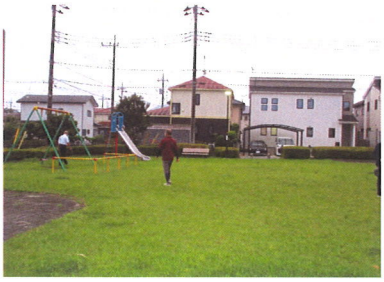
生涯健全育成部会では、安全安心部会と共催で児童・生徒も利用する松本学道の草刈を7月12日（日）に実施しました。

以前は、草木が生い茂り、暗く大人でも往来が不安になるような道路でしたが、数年を掛けて整備した結果、誰もが安心して通行できる道路になっています。

まちづくり協議会では道路に限らず、篠井地区の皆様が安心・安全に生活を送れるよう様々な活動をしております。ご理解とご協力をお願いします。

生涯健全育成部会長　廣田　雅克

【安全安心部会】

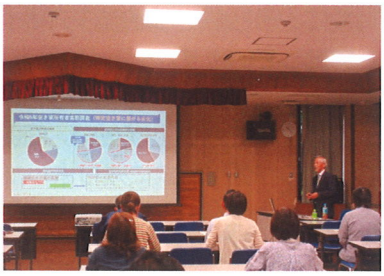


7月28日（火）、市民総ぐるみ環境点検を安全安心部会、生涯健全育成部会の部会員と、関係機関及び市民センター職員を合わせた16名で実施しました。主に通学路、防犯灯設置個所等を重点に2班に分かれて行いました。

地域の安全安心と子供の健全育成を願っての実施となりました。部会員やご協力をいただきました皆様、夜間にも関わらずありがとうございました。

安全安心部会長　阿久津　節子

【健康福祉部会】



8月29日（土）、ファイナンシャルプランナーの香取保男氏を講師に「空き家対策セミナー」を開催しました。

「高齢化先進地」の篠井地区において高齢者世帯の現状や空き家を作らないための方策について話していただきました。CMなどで話題のリースバックについての説明もあり、とても身近な問題としてとらえられました。具体的な質問もあり、今後の参考になり充実した講演となりました。

健康福祉部会長　村田　理枝

アジサイ植栽地草刈り“林業大学校地域貢献活動”

今年も、林業大学校第3期生の皆さんの協力をいただき7月2日（木）に1回目、10月16日（金）に2回目の草刈りを行いました。

アジサイは市民センターから西へ1.4km直進した国道119号線の信号機手前に植栽されており、運行している関東バスの車窓からも見やすい位置にあります。草刈り後に「きれいになったね！」と言葉をもらうと嬉しく感じます。まちづくり協議会の環境部会は不法投棄パトロールやアジサイ植栽地管理等も意識した環境美化の推進に努めており、純農村地帯の魅力を広く発信したいと思います。

アジサイ植栽地草刈は、2024年の林業大学校の地域貢献事業として毎年協力をいただいており、篠井地区と林業大学校・林業センターの深い絆の事業とも言えます。

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会会長　加藤　一美





輝き人生教室『お魚ソーセージ工場見学と烏山の山あげ行事』



8月28日（金）に、「Umios（ウミオス：清原工業団地）」（旧マルハニチロ）の工場見学と、那須烏山市の山あげ会館に総勢30人で行ってきました。Umiosでは、魚肉ソーセージの製造や、まぐろのたたきの製造を見学しました。海なし県の栃木で、これほど大規模に魚肉製品を製造している工場があるとは、大変驚きました。すべてオートメーションで、機械に人が使われているようでした。試食として出来立てのソーセージと、温かいご飯付きのまぐろのたたきをいただきました。とてもおいしくて、「缶ビールが飲みたい」と言っている方もいましたが、研修ですので控えました。次に山あげ会館に移動し、ユネスコ無形文化遺産となっている、「烏山の山あげ行事」のミニチュア劇場で、名物ロボット「勘助じいさん」の説明を受けました。また、大きなスクリーンで山あげ祭りのドキュメント映像を見学し、400年以上の歴史を誇る豪華絢爛な野外劇等、ユネスコ無形文化遺産に感銘を受けました。

篠井地区松寿会連合会会長　鈴木　和明



地域力アップ教室『日光御神領の由来と昔の篠井の人々の暮らし』

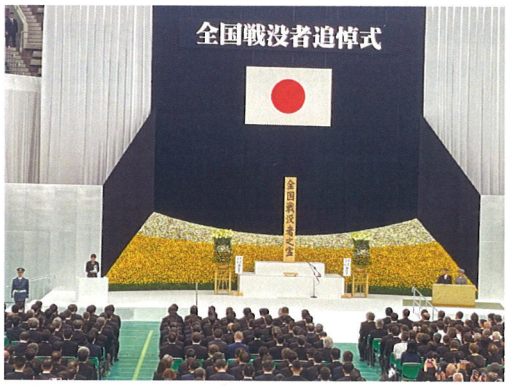
9月13日（日）に篠井生涯学習センター主催の「令和8年度　地域力アップ教室」として講演会が開かれました。

栃木県立博物館名誉学芸員の柏村裕司先生を講師とした約2時間の講演でした。主な内容は篠井地区で続いている献穀講、御田植祭、なす盛り等の伝統行事の模様と歴史的背景に関するものでした。

「日光の二社一寺は江戸時代までは日光山という一つの組織にあり、小池や石那田は御神領として統治されていた時代が長かった。また、日光山と時の権力者、政権との対立もあり、小池も石那田も歴史の大きな流れに翻弄され、御神領になったり、外れたり、先人の大変な苦労の末に今の伝統行事がある」との解説があったなど、初めて聞くような話が多く、内容がとても新鮮でした。

岡坪　半田　聖滋

全国戦没者追悼式に参列しました



終戦から81年を迎えた今年。毎年、「終戦の日」の8月15日に政府主催で開催される「全国戦没者追悼式」に参列しました。会場の日本武道館には、全国の遺族や政府関係者等を含め4,180人が集まり、栃木県からも篠井地区の3人を合わせた44人が参列しました。

式典は天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、高市首相の式辞があった後、正午の時報に合わせて参列者全員で黙とうが行われました。また、天皇陛下のおことばがあった後、遺族代表をはじめとする方の追悼の辞が述べられました。

今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられたのは、先の大戦でかけがえのない命を失った数多くの人々の犠牲があったことを忘れてはなりません。改めて、世界の平和と繁栄、幸せな社会を築いていかなければならないと思いました。

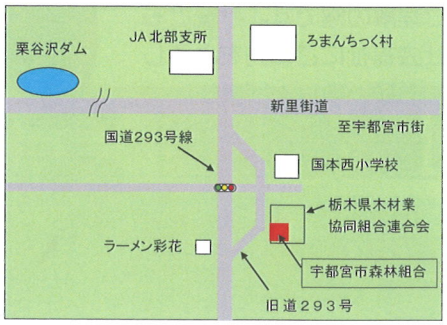
貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

篠井地区遺族会　　櫻井　啓一

宇都宮市森林組合が7月に事務所移転しました

宇都宮市森林組合は約10年間、旧農協篠井支所の建物、敷地をJAうつのみやから借用して営業していましたが、建物の老朽化等の事情により7月に国本地区に移転しました。（地図参照）





移転先は国本西小学校近くにある栃木県木材業協同組合連合会（木協連）の広大な敷地内の木造平屋の建物です。（木協連さんの隣の建物になります）

電話番号は移転前と変わっていません。是非、足を運んでみてください。

（新事務所）

〒321-2118　宇都宮市新里町丁274　TEL：028-669-3322

宇都宮市森林組合副組合長　半田　聖滋

篠井の散歩道2　篠井の歴史と地域情報紹介

連載

第13回　東照宮神田御田植祭が行われました

6月11日（木）に東照宮神田御田植祭という祭事が石那田町岡坪で行われました。毎年、東照宮に献上する米を作る奉耕者（ほうこうしゃ）が篠井地域から選ばれ、今年は私、半田聖滋が担当することになりました。





当日の祭事参加者は東照宮からの神職２名をはじめとして、JAうつのみや北部支所、地元の農業関係者など９名と見学者や手伝いに来てくれた私の子供など含めて総勢16名くらいになりました。自宅の庭にテントと祭壇が設けられ、神事が執り行われた後に家の前の田んぼに参加者全員で田植えを行いました。（田植えといっても儀式なので苗を一人一株ずつ手に取って土手に沿って1列に植えるといったものでした）現在この行事を行っているのは篠井とお隣の日光市小林地区だけになっています。

3月に東照宮から10Kgのモミ種（コシヒカリ）をもらってきて、それから育てた苗を自宅の前の田んぼに植え、そこが今年の東照宮神田になりました。秋に収穫する米はモミの状態で袋詰めされます。奉納する量は25Kg×20袋と45Kg入り俵×２俵となっており、合計600Kg近い重量になります。

11月には収穫の神事「抜穂祭（ぬきほさい）」が行われ、12月に小林地区の担当者と同じ日に東照宮に奉納に行くことになっています。

この御田植祭は東照宮の年間行事カレンダーの6月にも載っている重要な伝統行事です。将来にわたって引き継いでいけるよう多くの人に関心を持ってもらいたいと思っています。

岡坪　半田　聖滋

写真まつり作品募集中！「篠井の年中行事・郷土料理・生き物」

篠井の写真まつり作品を募集中です。今年度のテーマは「篠井の年中行事・郷土料理・生き物」です。皆さんが発見し、伝えたい伝統行事・篠井の自慢など、応募をお待ちしています。QRコード、メールアドレス（shinoi.machidukuri@gmail.com）からお申込みください。

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会　活性化プロジェクトフォト班

百歳おめでとうございます

篠井地区の今年の敬老者（75歳以上）の方は、509名となりました。また、今年百歳を迎えましたのは、飯山町の加藤エヲさんです。

今年も市・市社協からの補助金で敬老者の皆様に自治会長さんの手をお借りして、記念品をお届けすることができました。ひとえに地域の皆様の福祉に対するご理解の賜です。今後とも社会福祉にご協力をよろしくお願い申し上げます。



篠井地区社会福祉協議会

今後の行事予定

篠井の秋まつり・文化祭
日時：令和8年11月2日（月）
午後1時～午後4時（作品展示のみ）
3日（火・祝）午前9時～午後12時30分
場所：篠井地区市民センター
ホール・グラウンド

交通安全講習会
日時：令和8年11月21日（土）
午前9時30分～
場所：篠井地区市民センター　ホール

篠井地区防災訓練
日時：令和8年12月6日（日）
午前9時～
場所：篠井地区市民センター
グラウンド・ホール



篠井のマスコット
アップルマン

二十歳を祝う成人のつどい
日時：令和9年1月10日（日）
午前9時30分～受付開始
場所：コンセーレ

【編集後記】　最近自然災害が頻発している。先ごろの千葉豪雨では車が道路で水没してドアが開かなくなった事例が多発した。同じことが自分にも降りかかるかもしれないと感じ、窓を割って脱出できるようハンマーを車内に備え付けた。
かつて私の住む岡坪地区では2015年9月にあった集中豪雨で田川と赤堀川に架かる橋が流されてしまい、一時、陸の孤島状態になってしまったことがあった。
以前は、災害は忘れたころにやってくると言われていたが、今は頻繁に発生するので「そんなことはないだろう」と思わず、早めの備えを心掛けたい。（岡坪　半田　聖滋）

篠井地区データ（令和８年９月末現在）

総人口	2,222人	男：1,103人
世帯数	1,032世帯	女：1,119人
篠井小学校児童数	92人	
晃陽中学校生徒数	112人	

情報提供やお問い合わせは篠井地区市民センターまで電話669-2515